

縁中だより

令和7年11月18日

文責：校長 森田将史

学校教育目標

自ら進んで学び、
社会性と高い志をもった生徒の育成

学校令言景

素直さ・明るさ・逞しさ

英語科研究授業が開催されました

先日、本校2年1組において、英語科の牟田教諭とレロALT、そして市教委ALTと西浦上中ALTの4人による研究授業が開催されました。牟田教諭は長崎市教育委員会教育研究所の英語科教育推進員も兼務しており、本市の英語科教育を牽引しております。

当日は約30名の関係者が集まり、研究を進めました。Terra Talkに関する内容が授業に盛り込まれ、対話型、そして深い学びを展開することができました。Terra TalkとはAI（人工知能）を活用した実践的な英語・英会話学習アプリで、発音や表現について客観的なフィードバックを得ることができます。既習の内容を活かして、3人のALTに日本のマナーやルール、縁が丘中の特色などを話す学習活動で、生徒たちは熱心に取り組み、写真にもあるようにALTとも積極的に学習を進め、本校生徒、訪れた先生方にとて実り多き研究授業となりました。事前授業の2年2・3組を含め、生徒の様子も素晴らしいと好評でした。

その日の出来事・・・

研究授業が開催されたその日、市内の多くの先生方が自家用車で訪れる想定をしていつものよう

に来客者駐車場として運動場を開放しました。その時の一コマ。昼休みに遊び場所を奪われてしま

った？3年生男子5人（自称イケメンズ）が誰から頼まれたわけでもなく、坂道に立ち元気のよい挨拶で来訪者をお出迎えし、そして駐車場まで誘導し、さらには玄関や会場まで案内し、大活躍してくれました。翌日の別の会議に参加した際、何人もの先生からイケメンズに対するお礼の言葉をいただきました。

早速、その5人を呼び、お礼の言葉があったことを伝えました。

『縁が丘中の看板』を背負い、『縁が丘中の顔』となり、皆さん一人ひとりの行動や態度は、そのまま皆さんの学校の姿として見られています。

皆さんが校門をくぐる姿、教室で真剣に学ぶ姿、仲間と笑い合う姿、運動で汗を流す姿。そして一步校外に出れば縁中の看板を背負い、縁中の顔となるのです。右の写真は私が数年前に3年生を担当している時に、受験率で瓊浦高校を訪れた際に思わず撮ったものです。正門の内側にこれが掲げられてあるのです。自校のプライドを持ち、中学生が憧れを抱くような高校生の姿がそこにはありました。感動しました。「看板」と「顔」は日々の中で示す誠実さ、優しさ、そして集団という共同体への信頼を築き上げます。皆さんのが地域の方々に会釈をする、困っている人に手を差し伸べる、そのさりげない行動が、どれほど多くの人々の心を温めていることでしょうか。

自分のためだけでなく、未来の後輩たちのためにも、新しい伝統を創ることになります。皆さんの挑戦する姿、困難を乗り越えようとする意志は、必ず次の世代へと受け継がれ、学校の財産となります。

さあ、縁中302人の皆さん、『一人ひとりが縁が丘の顔となる』という高い志をもって、誰からも愛される縁が丘中を創っていきましょう！！

